

開講科目名 / Course	養護実習事前事後指導	
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 後期	
開講区分 / semester offered	後期	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	3	
主担当教員 / Main Instructor	吉村 匠平	
担当教員名 / Instructor	関根 剛、吉村 匠平	
必修・選択 / compulsory subject	選択	
講義形態 / Class Type	講義	
科目の目的と概要	<p>事前指導：まず、実習校を事前訪問し打ち合わせを行う。次に、学校ホームページに記載された内容や学校要項を参考に、実習校の概要を調べる。その上で、具体的で評価が可能な、実習における行動目標を立案する。</p> <p>事後指導：実習での体験を学生同士で交流し合う活動を通し、実習での学びを深める。自分が立案した実習行動目標に沿って、自らの実習を評価する。</p>	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 必要な情報を収集し、実習校の概要を明らかにする。 2. 具体的で評価可能な実習行動目標を立案する。 3. 実習中に体験した事象を、実習記録として、具体的に記載する。 4. 実習で体験したことを交流する活動を通して、自分の実習体験の学びを深める。 5. 事前に設定した行動目標に沿って、自分の実習を評価する。 	
DPとの対応	2.看護を遂行するための幅広い知識と観察力・臨床推論能力、マネジメント能力、3.心豊かな人間性と倫理観、5.国際性を持ち、多くの職種や人々と連携・協働する力	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 01. オリエンテーション、事前訪問に関するガイダンス 02. 実習校事前訪問 03. 事前訪問のシェアリング 04. 実習目標の作成（死人テスト、具体性テスト） 05. 養護実習の自己評価とシェアリング 同じ校種の実習生との交流 06. 養護実習の自己評価とシェアリング 異なる校種の実習生との交流 07. 新大分スタンダードに基づく授業展開の理解 08. 生徒指導の3機能を活かした授業展開の理解 09. 協同学習の基本的理念と基礎技法 10. 場面指導の実際 	
その他の授業の工夫	履修者同士がペアを組み、相互に批評し合う時間を設ける。	
時間外学修	<ul style="list-style-type: none"> ・実習校のホームページ、事前訪問で収集した要項に基づき、実習校の概要をまとめる。 ・実習における具体的な行動目標を策定する。 ・場面指導案を作成する。 	
評価方法と評価割合	実習日誌の記載内容（50％）、授業中に提示する課題への参加状況（50％）で判断する。	
テキスト		
参考書	改訂 養護実習ハンドブック（東山書房）	
履修する上で必要な要件		
その他	みなさんが体験する初めての学校での実習になります。学校という実習の場を体験することは、皆さんがこれまで体験した看護学の実習の学びを、さらに深める良いきっかけにもなるはずです。いろいろなことに、驚き、興味を持ち、疑問を感じてください。	
教員の実務経験	有・無	有
	内容	吉村匠平：子ども園、小学校、中学校での教育相談 関根剛：臨床心理士
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	有
	内容	秋本：小学校教諭、臨床心理士
実務経験をいかした教育内容	教育現場で課題となる児童虐待、発達障害、保護者への対応などについて、事例を紹介する。	